

放課後子ども教室



今回の訪問(2019年9月17日)は「千里小学校放課後子ども教室」です。

- ・開設年度・・・令和元年度
- ・活動回数・・・年間7回
- ・対 象・・・小学校1年生～6年生(選択制)
- ・主な活動・・・レクリエーション、科学教室
新聞ドーム、ダンス、運動等

一人一人のニーズに 対応した参加方法 ～やりたいことを思いっきり～



「千里小学校放課後子ども教室」は、今年度から始まったばかりです。一つめの目玉としては、コーディネーターを中心として、年度初めの保護者会で「放課後子ども教室とは」を説明し、さらに全校朝の会で「放課後子ども教室の入室から下校まで」を劇にして説明しました。保護者や子どもだけでなく、先生方にも放課後子ども教室での動きを理解していただくことができたそうです。そのためか、連絡や提出物も滞ることなくスムーズな活動ができています。二つめの目玉としては、猪苗代町の各放課後子ども教室は登録制ではなく、各回ごとにお便りを配付して募集します。子どもや保護者は、自分のやりたい活動を選択し申し込みます。保護者の方からは、「選んで参加できるのが良い」「やりたいことを子どもが自分で選んで参加したいという気持ちが表れてきた」と好評だそうです。毎回のお便り配付や名簿作り等、事務側の労力は大きいのですが、子どもたちのためにと大人も生き生きしていました。

「♪ ZUNBA & フィットネスボールにチャレンジ！！」



リズムに乗ってノリノリのダンス！



友達との交流で大盛り上がり！



自分で選択した活動だけに、積極的に感想発表！



子どもたちを見送った後は、
大人全員で反省会を行います。
全員で共通理解を図るために
毎回必ず行います。



当日提出された
「案内通知」
チェック表に加筆修正します。



登録制ではなく、選択制の放課後子ども教室なので、毎回の安全管理には万全を期しています。申込時に下校方法やアレルギーの有無など、気になる点を記入します。回収した申込書で名簿を作成し、1回目の安全管理チェック。その後に「案内通知」を郵送し、当日提出された通知で2回目のチェック。きめ細かく、二重のチェックをするので、特別支援の児童も積極的に参加しています。学校現場でなくともインクルーシブ教育が展開されている他に参考となる取組でした。